

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公表番号】特表2018-501577(P2018-501577A)

【公表日】平成30年1月18日(2018.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2018-002

【出願番号】特願2017-533462(P2017-533462)

【国際特許分類】

G 0 8 B 25/10 (2006.01)

G 0 8 B 25/04 (2006.01)

G 0 8 B 21/02 (2006.01)

【F I】

G 0 8 B 25/10 B

G 0 8 B 25/04 K

G 0 8 B 25/10 D

G 0 8 B 21/02

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月17日(2018.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装置を装着している人の要求に応じてアラームを提供するためのウェアラブルな個人緊急応答の当該装置であって、前記装置は、ハウジングと、

使用時に手首に取り付けて前記装置を装着するための前記ハウジングに結合されるストラップ、使用時に腰に取り付けて前記装置を装着するための前記ハウジングに結合されるベルト、又は前記装置を首に装着するための前記ハウジングに結合されるコードとを有し、

前記装置は電気特性を持つ部品をさらに有し、前記ハウジングがさらに前記部品に結合され、前記ハウジングに作用する前記人の牽引力に応答して前記電気特性が変化可能であり、前記装置は前記部品の電気特性において測定される変化に応答して前記アラームを提供し、

前記ハウジングの外側が導体素子を有し、前記装置は前記導体素子間のインピーダンスを測定し、使用中に前記人が前記ハウジングを握ることにより生じる前記インピーダンスの検出される変化に応答してさらに、前記アラームが作動される、装置。

【請求項 2】

前記部品が前記ストラップ、前記ベルト、又は前記コードにさらに結合される機械的スイッチであり、使用時に前記機械的スイッチが前記ハウジングに作用する前記牽引力に依存して開閉される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記部品が前記ハウジングに作用する前記牽引力に応答して変化可能な形状を持ち、前記電気特性が前記形状に依存する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記部品が弾性材料を有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記弾性材料が圧電弾性材料又はひずみゲージを有する、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記部品が前記ストラップ、前記ベルト又は前記コードを介して前記ハウジングに結合され、前記ストラップ、前記ベルト又は前記コードが、前記電気特性の変化の測定を可能にするために前記部品への電気接続を提供する導体材料をさらに有する、請求項 3 乃至 5 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 7】

前記部品がチューブの内部に位置し、前記チューブが可撓性であり前記部品よりも伸縮性が低く、前記チューブが前記ハウジングに結合され、使用時に前記牽引力が前記ハウジングに作用するとき、前記部品の伸縮を制限する既定長を持つ、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記ハウジングに作用する前記牽引力が既定期間よりも短いとき、前記アラームを抑制するためのタイムフィルタをさらに有する、請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 9】

前記アラームを取り消すためのユーザインターフェースを有し、前記装置は前記アラームの作動に応答して音響、視覚又は触覚信号を提供する、請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 10】

前記部品がストレッチセンサであり、前記装置は前記ストレッチセンサの測定される電気特性に応答して前記人の潜在的転倒の指標を提供する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の装置とベースユニットとを有する個人緊急応答システムであって、前記装置は、好適には双方向ハンズフリー音声端末として機能する前記ベースユニットに結合され、前記ベースユニットは前記装置から受信される前記アラームをアラーム制御センターへ伝送するために当該アラーム制御センターへ結合される、個人緊急応答システム。